京都

多

八大票 藤 平兄弟

m

·Q

八八四票

中島三

彰

日(日)日

關稅必要や仄 一十九日澤田代表ミの會見 めか す

のため駐任し来籍院議員出船平电社長が之に代ることになった

地委入場券

六九票 坂

朝鮮銀行

突泉縣

農作物に大被害 復た洪水

に着手 せっむき ありさのに着目し前以て入場券の買

初めて採用せる入場祭の交(安東鏡)「今次の地姿戦に於

海田代表 何を提請するか 何を提請するか き頭べるやカイタン氏は口を さ思ひ政府 3 交がして 8 る さ思ひ政府 3 交がして 8 る 中度のやつた現職税では 3 部氏が追加された の順ギッシャ系使川島信太 の順ギッシャ系使川島信太 重九郎氏ぶシムラ會通出階気のため深井英五氏は瞬朝気のため深井英五氏は瞬朝

「シムラ二十九日被魍魎」今日暮いた印度の営業者代表カイタン氏は平後四時よりポムは平後四時よりポムは平後四時よりポムは中後五時より滞田代表を訪問し挨拶を述べたがカイタン氏は滞田代表さたの問答を貸した。カイタン氏は先づ滞田

能に陥つた面積は全耕作地ののため時流河及び那金河は大のため時流河及び那金河は大心を増は杜絶し、農作物収穫不変増は杜絶し、農作物収穫不

親して替示を絶對に許さぬ方

無電を使用 は

6個係各方前では戒正され度

に角。かもる様の体へられ

めるさ言つてゐる。

こさは安東の不名祭である

二月十

印度網は入超のため類る困

にからし

歌は失業者の増加の裏れあ 車増進が必要だが印度の現 の現

日本の産業をやつて行けぬけるは考へなかつた。

遞信省で十月一日より實施 明待されてゐる

職の普及に費すべき頒州明開の産業開発並に國氏に對し知の産業開発並に國氏に對し知 機械實演博覽自 卅日開會式

> て堂々市中に販賣又店頭に飾 造者等は今回又度不

GA THE

酒で其の他にも

されてるた安東市門の西領私 され市民語な者間に用雪批雑

して過段警察官局の手に臨ま

「安東競」酒類私造の選ばさ

また不正醸造

るかと

他まで共存共業の方針で諸 日本も負超で生死の騒ぎだ 日本は脅威する意思はない

カイタン氏の意思は甲冑見をはやって行けれら言ふこさを協調する積りもしく澤田代表を設明は承服出来なかつた複響で、商澤田代表に再會見を

國さ提携してけく積りだ

機請した

ご誇張的に印度の窮默を説明

の方法に攻奪し、仕四時間を 対路の下に開育式を 十一時より奉天富士町満磁梅砂機械電演博覧書は本日年前 運動場に於て日浦報以青多 つてるると警察者間に建見さ れた七に赤玉ポート

で従来に比して連選される智通じて通信し得る事になるの

國地籍調査の 遺の模様であるが何れも人体 度の此の単に気局では非常に

カイタン研代表間の會談の店 果印援側はあくまで印序産業 果印援側はあくまで印序産業 果印援側はあくまで印序産業

最め米綿は割高さなり。従つ 製落し印綿よりも割安のため 製落し印綿よりも割安のため 製落し印綿よりも割安のため 製器し印綿よりも割安のため

増である。これは昨年度米

食を開き我國の執るべき方策

質を見越し輸入取極めが不質が激増せること同時に印綿不可能を引が明に印綿を入額

準備着々進

满洲

通商正式商議は

西アフリ

のご願ら

本準編を進め目下調査完行の中であつた地籍調査は其後署

會議の結果

條約延長 日印通商

し得る調査の範閣決定等に確 観係。技術輸派より見て實行 電起草さ並行して土地の権利

州中國國通)

に廻附

さの窓局内に存力に極頭し實力成案で急いで居る。 尚は研り成素で急いで居る。 尚は研り成素で急いで居る。 尚は研りのという。

一〇七票

正路銀行支店

K 耶 逸

假約文を樞府

英印當業者

府代表。見際顧問の聯合協議

10八票 近春松五10八票 近春松五 0

歸還 菱刈司令官

竹田田 兼 太 耶 吉 の旅行を終つた菱刈車司の官権東総政務監督の当旅組方前 謀、鹽原、鶴見爾秘督官。今は卅日午後七年五十分辰己参 間側官を隨へ新承に帰還した

工製材無限公司 田 新 遺 宗三邓 [東京州日發送海] 犬殺省發 九月下旬十六港外過四易 十六港貿易狀態

大藝術二五大藝術二五大藝術二五

并 柳

目丁三町県水

朝鮮肥料株式會社

H

合性下旬重要商品輸出入個を 一月以降場計人超 一月以降場計人超 大九、七五四大 大九、七五四大 版算左の如し(電位千圓) はあられなかつたっ彼はそ

十六百八千

で至急翻隊し福府に通附したの大使より外務省に到着したの大使より外務省に到着したの

600th

第一回會台通商審議會

会終了、その極果左の加く電台 会終了、その極果左の加く電台 が直ちに開票開九線四十三 のが直ちに開票開九線四十三 のが直ちに開票開九線四十三

十月十二日

は印度さロンドンの営業者分 は印度さロンドンの営業者分 は印度さロンドンの営業者分 に関する日英 を新協定成立せぬ約に関する日英 を新協定成立せぬ約に関する日英

して速るに下審省を懸請した換公女の外務省假約女を提示

安東商議

常謝員選舉

安

10五票 档 直 水

直太郎

〇五票 村

富士紡績安東工場

英領西アプリタの通命談約問務省は廿八日松平大使に對し

二上野記官長を訪問。日英空栗山條約一個月延長協定編は條約(東京州日景國通)日印通商(東京州日景國通)日印通商

中に官様で養表の害で領職に関係さ決定。 東田曾是以下各委員は一明日本の結果。十二日午春日は二十九日各委員は一明日本に官様で養養して、一十九日各

一二三聚

清水 茂 準 瀬ノロ 華太郎

O.u. ...

分終了。その結果だの如く智 選した。関新額は九名であつ

の如し(単位千圓)

上原四茂

すつかり澄んでゐるので

金華堂へ

迅出

新京本樂町三丁目廿六番地 一二 友 社

り大気と同じやうに製造の一り大気と同じやうに製造された此 見てゐるやうな心特にならずに はと同じやうに無面の一類が 見てゐると、英一もやつば 見てゐると、英一もやつば 見てゐると、英一もやつば これ、我。あの一緒にゐる男を職 おい、我。あの一緒にゐる男を職 おい、我。あの一緒にゐる男を職 おい、我。あの一緒にゐる男を職 を思ふ」 の発気がたが、今後はちよつと願いたやう

ををさへ感じた。 を現はれた二人の方を見いしなった。 な一はかなり長い間ちつと

日を住きながら駄頭いて 女のがは

祝町子目中四

中公共一十

博多屋

階級工製紙株式會於 川器正三郎 三唐社一 治 (音三十) 水玉を碎べ

古 高

根秀 非

浩畵)

日

日

案

内

昭和八年九月二十九日昭和八年九月二十九日昭和八年九月二十九日に持定流行ニ関シ左記ノ清新パ繁祭署是ヨリ告示アリ新が風名言第十六號

からいった時には大気の頭にはからいった時には大気の頭には、 「おい、母をすれば影とや見たまへ。あすこにクヰン がやつて來るぜ」 の横角を登し眼くやうにしていきさらいふと英一はちよつと大翼 への使の掛かうといふ動曲の序幕 にゐるんだから間違ひつこなんぞ べんだから いっとい

度家 高級主名 音楽四 高場地帯開静 姓名 在 社

鹏

司

一款買引リ東京へ国際列車・

9年57

學

北 鲜 経 由 東京 ~!! 大 阪 ~!!

新尿地方事務所是

章

月三日二雙道天草丸

式有社

いふ位の 心縁しか 野はれてき人物が舞ぶに現はれて 子が現はれるといふことを知つ 『うふん、それがやち君はことに あたのかい 女中 素直でよく働く 東四條領は四番地 田 電話三五六五番

致名入用数名入用

心事費ありさせば市政を腐敗論一種の風説に過ぎまいが若

怪なる噂が個へられてるも勿

噴落せしめるものであり安卓

10

からは知らなかつた。 るかといふことは、ちよつと をした一人の別と述れ 人のある孤樹までは、まだっ 人のある孤樹までは、まだっ たっしい人影が見えた。 れは彼の女一人ではなく。 れは彼の女一人ではなく。 英一はさらいつて海岸の一人…… でしかも子 開からといふことはちよつと不意かっしかも子 開か知らないさっ 實は代表栄養を記 かなり り窓いたやうな様子もないね」 打の形なんだ。きつかけを間違へ り配さっちょつときつかけを うか……っしかし財はあんまを鳴らされたつて形なんだ」 產師 電四七五九番馬場紙南工場 電ビボニ丁目十四番地 料和理洋

東四条通

カフェー

新京静縣著告示第七號

質もある

美人揃ひのウエータ連の意 ーピス振りを即覧下さい

ホガラカなホー

花も

ライオンカファ

三一空町二丁目

電話二三七九番

我村 せん 九電話四七八六番

もこんな芝居の緑繊筋管は動まり 京 染 電電二六二〇番 しき

消防除板人

洋帳簿 各種製本等日 三多町三九 三省堂製本所

秋冬。吳服

金屬

及

安

石

造銀金銀 高慣買入

店計時廳佐

竟花及生花. 横濱屋質店 製旣

Q) 加藤葬儀社 ▲ラクダ毛布 ● 瀬 園 綿 ・ 本婦人コート ・ 本婦人コート ・ 本婦人コート

総は三〇八巻

道具一

佛

月 電

日初めます 烹 既に定評あり

F. 速前

電話三四四五番 二條續



告野町市塩前ミラワ屋書店内 **电话二三三一型**

婚禮衣裳着利

語

計版資並修

三七二九番

速成班研究員募集

會話篇(外四學及支那性音符號)初學/方(男女無關)

一、 研期開時教養 第 第 門目間材格

社

長春美容院

日 自午後七時至九時迄日 十月四日(申込く三8巻)日 十月四日(申込く三8巻)日 三ヶ月半分)日 三ヶ月半

清洲語學研究

第十回論功行賞

職隊第七中隊浦上歩兵伍長は功六級に た者の第十回論功行賞は陸軍省から發 表されたが昨年滿洲各地で戦死した九 表されたが昨年滿洲各地で戦死した九 表されたが昨年滿洲各地で戦死した九

費に耐して 可在米國では

去三年間米鏡で建造されたの

海軍大佐 關

米國は倫敦曾

は同じく

軽快機船の充實に参手し全衛間の努力に依つて此等機種ではの兵力量に適したので中百尺竿頭一歩を進めてで中百尺竿頭一歩を進めて

足したからでなく當は政府がはならぬ理由が何歳に在られて表のより之に極

間が短く而も其の期間内 **幹明したやりに係約の有効**

を終切が開

するさころさはならず破監観 た日本の行動も錯外層の容認 た日本の行動も錯外層の容認 た日本の行動も錯外層の容認

裏にパララク式の假腹舎を建 の腹舎の狭溢さ共に一般市民 に関ふる不便も移くないので さきに駒線の一貫さして同島

うべく同係自は著々さして他 の取扱を新聴会に移輸迅速な の取扱を新聴会に移輸迅速な る。の取扱を新聴会に移輸迅速な

段代引小包、並普通小包の排

叙せられる事となった聯隊第七中隊浦上歩兵伍長は

やつた」を云つて居るが、そ

さして最も頼心を持たねばならねさころの主力機。 「「エー

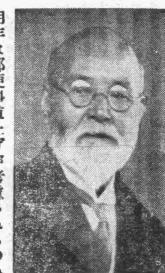
れは亜松事實に州進して居る

米國の

- 億圓を下らず 明年度豫算財源の増税には 高橋藏相は反對 增發

有じてゐる

て考へる。然し現在の間會の 制度は英國の模倣に過ぎない」でで現時會制度の攻撃に 及びこれが構成員たる諸員の 酸獣を洗ひたて「健氏を代表 せるものは一つもない」で痛 に過ぎない」で強いでします。 に過ぎない」で強いでは明 して待つべし」で述べ次いで に入りても問題の改造に属する陳述



一、産業恢復は幾分上昂したが全部的に人 . 、此の際增税断行せば心の安定を得てゐない 兩三年の景氣伸長を見て確實な租 此の際増税断行せば人心に萎縮を來す

増養十億を下り得ゆこご明瞭さなつた 系を樹立し増税す

日本側

割

五割に引下げ方

要求

重考慮

を約す

本格的討議に

昌黎に派遣 便衣五百を

て博士は殺人事件に観诵なくるここは確智さなつた。従つ

は中間の手により博士が止め

さ略々確實さなり。

稅體

史的に必然性を有するがそれ 在の市場經濟組織は凡べて歴

對米関係は大使以外に使節

り世

高橋滅州は語る

ての懸案で時期も充分理由が立つ、明年は郵便料値上げが考慮されるの 唯値上げは一般の負擔を考へると難かし みで之を遞信省でごう 考 D 5 か 知6 口が歌

支那叉復日 聯盟 に持出 支問 題を す

有吉公使から南京政府に抗議

映画型で、「は日」はあがるが日態度を設金が、「は日」はあがるが日態度を設金が 示あり 誤るぬ様されたい」 この訓 面目に、その本來の目的を 定。それより

指題は歳民社會教化の助量に う教育映畵及公共園体用フィ を 本及附屬品の開州輸入開税 民政部及観車展囑託舎崎氏よ 一五民間被告

南京政府へ抗闘さ反省を求む べく三十日訓令を發した

第三回委

第三面公判

吉会使を通じて

出してるるので外相は次の

to

上間総鈞代券又復同問題を持てるるが二十九日の理事會席

ペーテーニン主演の

押収持ち儲つたソ朝モスコー ロフスフィルム撮影所製作ト る人生」の試寫を行ひ ペーコルフェー監督

の普及を側面から助成する。唯一の手段であり、敎育映畵 唯一の手段であり、教育映画ードの検閲は不良品の驅逐の

際宴午後八時過ぎ盛音響に散

橘氏各方面の改造を力説

制なく决定。次いで委員長小撤廢論あつて、一同贊成、異 林淼謀少佐より映畵寫真レコ

本したので、右諒解通りにす の交渉により一個月延長し、終て松平大使き英國外務當局 延長するを得。この諒解が成右明間内に轄6知場合は更に

く决定をれより先般哈市より を含むれる様常島に建議し で、その統一及法規の緊急

右に綴しては既にロンドンにおの知問題が滅に上つたが、自然時間とので帰めて親の入つた別が行はれた。自然時頃最初に上つたが、

川は首席代表ポープ長官も初だが、殊に本日より印度政聴 るので双方代表頗る した面持で

天津駐

电第二交代部隊

路壁校のため苦力百七十名を協議員業福井租邦人三名は道

新京上下水道工事受付ハ工事制力関係上昭和八年九月二十七日昭和八年九月二十七日

まく行方不明 跳南を出發した

夕刺に至るも到着せず安否氣 軽して瓦房に向つたが廿九日

遺はれて居る

案を爲し、それに就て日本明五割に引下けられ度しきの掲 示した、之に對し印は輸出統制の用意有 税は高きに失するを以て之を綿製品に動する七割五分の間 思び出深い北支の地を後に御用船で擔済を出帆一年間 て山海師、微州方前の凱旋十一時東停車場最車塘古に 解さ合體し三日中後等様發 一交代の天津部隊は一日学〔天津一8種調通〕駐屯軍

もなった。

進に強を護るため勇退するこ さになり三十日発官健争され たか、同氏は現在官内省御用

天津發歸

松田道一大使

歷

本政府の遺憾さするさころるさ思惟せらるしこさは日面に於て正反對の隠匿を執

大和ホラルに於て開育、先づ委員會は三十日午後四時から委員會は三十日午後四時から

可是張實業部總是の挨拶に次

日を標榜し居るに拘らず あり殊に支那政府 成立以来極めて友好観保 あり除に支那政府は口に親成立以來優めて友好顕係に、現在日支嗣係は停戦協定

本政府の遺憾さす

があさころなるに於ては帝 感化せしむる如き顧維鈞の 悪化せしむる如き顧維鈞の

過々さして進まね内地の映 調函管に先じて着々具体化 しつもある満洲映畵函管の

母体たる本會の健全な方 達き隣洲過越設の重大な

H

米建艦

問

題

(上)

味するものでなく原國さも頻量計画は何等遺艦領事を

氏は日米

を何等拘束しないのみならずが終了した後には日本の立場

該條約 如此以出

係意のン

日のの部於

退職發令

島是たりし松田道一大使は後 (東京三十日辞國通)前條約

公使後任は ポーランド

三十日中世七時五十分時京三十日中世七時五十分時京

4 往

來

伊藤述史

約上の権利を胎げす

正とき認識を以て

誤解を一掃せよ

感じなかった筈の

現有兵力で國防上別 的塩反だを云よので

て着にをが係

英人タエー・オー・ビー、プラ特に添つたものはなかつた。 情勢は殆ご一さして日本の期

郵便局の増築

九日ごろに竣工

小包の配達が早くなる

府會議後慢心に慢心を重ねた

氏も論じているやうに報

兵人は決して米崎の建艦が ないさ語つたさ佛へらねる

つた、然し乍ら其の後の动祭が出來るものさ信じた爲であ

するに決定し、アグレマン到の後任に就き54相は國際聯盟の後任に就き54相は國際聯盟の後任命

宮本氏懸ホテル投宿中一日

(東京一日# 國通)河合系使

氏に決定

日本政府が親善労進にも

洲事件

より開す愈よ本格的討顧に入 第三次日印官商は午前十一時 印度愼 一次回 時間の管理を約し正午散日した は十月三日 は十月三日 **b** ムラ會商愈よ

ハパナ市 中の

ナ市中に於ける共産党の示 更に悪化 威

T' H して居るが、正確な数字は未 を中酸化し銃壁は到る鷹に起 を中酸化し銃壁は到る鷹に起

てた模様で形勢受滅さる ではリッエートロシブから這にはソヴェートロシブから這 狙撃された、因に今回の駆慢撮影者も衝突の實况を撮影中 だ利明しない尙米人ユユースして居るが、正確な数字は未 せしめて居る

さなつた。

▲貴族院諸員九名六日午後九 ◆福島教育調五名一日午後二十九分著國五本一日午後二十九分著國五本テル投宿 第二十九分著四本テル投宿 第二十五分者四本テル投宿 第二十五分者四十二十五分 第二十五十五分 第二十五十五分 第二十五十五分 第二十五分 第二十五十五分 第二十五十五分 第二十五十五分 第二十五分 第二十五十五分 第二十五十五分 第二十五分 第二十五十五分 第二十五十五分

邦人請負人

人請負人

逮捕さ

れた明名は身体の恢復

問はれるであらう。向門地で 屍体演棄並びに瞪握煙減罪に

並びに市場を破民のカに依つ りはない」 き論じ 「観象の権 りに依り市場經濟を徹底的に してといって好いを食べの って一進展を観る豫定であり 射支調係は蔣公使の帰任を渋 原新映面打開を闘つた、即ち に高機蔵相を訪問就任以來郷は三十日年輸九時半蔵相官邸 新和平外交 豫算につき て居るが顧用に於いても外務 省の平和工作を誤解しこれに 要する外務強算を容認された いて述べたごころ高級顧相も 十一時辭去した 田外相藏 派遣し親善を闘らんで企問し 一開陳一

て考へる。 然し現在の顧會

の総恵の反映するものさしい。顕き制度は飽くまで顕氏

額さ執行機関が無ければなる

國氏の精度を基言する投決機

意見を でそれより。土地制度の改革 でそれより。土地制度の改革

に基かねばなられ、それには一域氏協同体は國民の自由憲志

念に及び、

担在い大學は職業紹介以上の「小學校が家康 さか秀吉さかの征服者を英継さして見意に致へるが如きは恐烈 領まる」 き述べた

室の某要職に傾補を決定した附近田秀一州中黔は立く開東附近田秀一州中黔は立く開東附佐殿三郎。 近衛師園司令部

と懇談

氏を代行せしむるささなつた。事務局の事務は常分べつた。事務局の事務は常分べ 佐藤、武田府中將

日滿航空路

た記り

通

草

近く關東軍 開拓海軍機

事羅津に到着

時卅三金融津に無事到着したと終開拓の相摩大尉指揮の横衛領航空除機が艇は昨日午前須賀航空除機が艇は昨日午前の横衛領航空除機が一大尉指揮の横

物 見 王博士

法務官等

東京に引き揚ぐ

海軍側判士

の内容を知らせ今尙疑惑に包とを傳へるご共に内地に続ける中蘭の供述及び夫人の遺野 谷川司法王任は見玉博士に対 殺人行爲に何等關係な

の人智恵によるものなるこ

工事件海軍被害の判決に関し 世日の培審以来高須判士是以 下名判士。法が官等は砲術學 「協力」に研究中であるが ・ 開田 所辯護士 2 官 見後一同東京に引き揚げ、判 見後一同東京に引き揚げ、判 の特をした十一月始め頃さ 次常した

に於ける中蘭の供述は全然出 鋭き取調べを行つた結果内地 まれて居る兇行現狀の模様に

大、本取締規程の昭和八年十月十日のリンプ實施ス大、本取締規程の昭和八年十月十日のリンプ實施ス任を同族の警察署ニ於テ受附ス任、前項ノ駅可ラ受クタル荷馬車の担定ノ標族を設示スエ、前項ノ駅可ラ受クタル荷馬車の担定ノ標族を設示スエ、前 経路

營業科目

特案特許萬代襖 造版 賣 新京東二條領《領徵核院西門翰》

兒玉疊襖店 二二九〇

月月 電品 日間 に限り

瓦 球

たつた 金 拾 0 交 斜

電 宣各滿 引 换

電

より八日まで(一週間)

新京百貨店

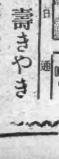
し致露披築改

知らせ

日

自 動

壽きや



霧堂では三十日中にすつかり 醒事會場に宛てられた室町校

足は意外に早 棄權も割合尠 投票者で賑つた選擧會場

17) は満鐵

正八時からいよく、投票の受付が始まつたのであるが好天と日曜に惠まれたせいかくも制服の滿巉社員の一團がドツと一時に詰めかけて人目を引いたが、かくて午前をくゞるずつと左右兩側には各候補者の選擧事務所がずつと並んでゐる、定刻前早 候補者、運動員、熱心な選擧フアンなざで、なんさそれは素晴らしい景氣だ、校門選擧會塲にあてられた室町小學校附近は早朝からけふの結果如何にさ詰めかける各政戦こゝに一旬、總决算の日は遂に來た、けふこそ吾等が代表を選ぶ最後の日だ、 出足は意外に早く午前十時までには既に五百六十票の投票があ も案外尠く三割方程度に止まるではな さ見ら りこの形勢では棄權

吉川組の中野さん **ごつご押掛けた日人側受対** は

へて購入側は氣薬腺だけに投 中は日人側の活氣横溢に引換 一名がやつて来たがやはり選 一名がやつて来たがやはり選 青木所長が 泉香の出足も鈍く。開場三十 の投票があつたにも拘らず 第二受付はほんの数名さいる

々清き

係員らそれら

所定

の係員席に

奥深く消えるここれにつてく

選集長荒木地方事務所長がモ 準備を終り定刻早く。 けふの

事物所長、 で青木織道 けふ急行で四平街を往復 心に午前七時半の魚行で新京に着くさ早流選舉場へさかけてものだ。受付が始まるが早いか某候細のために以を入れてさつさき引揚け九時最の急行で又も四平街へ引返した。まづ今度の選挙では第一

現業員さして日曜も休みなくまつたいこれより先き領域のまったいこれより先き領域のまったいこれより先き領域の

綾川武治氏

氏が最高らしい」 この評か名の候補を壓した形だが「大原のお隣の沼田さん。早く他の の機能を取りた形だが「大原氏さ

に例の栗領のよいキバー 原氏の選舉事務所で朗かな顔 印が的しサーベル製を関帯館署の平江警部、 八時後省には早く --ベル製を止めて は何等の除害もなく無事最事が失新京権政治津直通列車

さいひながら小母で ・僕は大原氏とは同じ尽 似んなものですな

恰度二十年前の内地の光景 すな野祭官がこんなこと してゐるき明日中には首 **健吉林行き軽油動車での出來** 一 5 年前九時四十分移新 e 譯

世た人、清時を思出したか否 に名警観さして選挙には殊に今江さんは京都、和歌山時代 揮しようさする一日、増製等々で断然旅客本位を製 にスピードアラブ斯で、列車でさ……列車時刻改化を同時

か感慨無量さいよさころ から吉長吉

に到車は健卓しさうく楽り

けぐれた件の男。

カンくに

る折からヤマトホテルの容引 七、八個を各自積込もうさす 吉林へ行くため手荷物 また同

赤になつて抗議を申込んだがなつて助设室に飛び込んで真 金剛寺境内に 廉賣市場生る

は会設市場に對抗する版實市は会設市場に出来た版資場は二日から開業、毎日午前八時より午後 で会設市場より自由な販賃を安く覆るが經營は数人の合資 場で化粧品。世帯道具、食料品 土産物を取扱ひ市價を切つて 公設市場よりの 新京に派遣せられるこさにな 新京に派遣せられるこさにな 逢坂町の

新点に支店を設置すべく水果朝鮮泉城丁子屋では強下満の 先月九日家人の隙を窺ひ情夫 こき緑田4チさん方抱へ整弦 大連中逢坂町二七科亭職榮樓 驅落ち藝妓 新京で捕はる

京城の丁子屋

村清(二四)の手引で向借

北田・北京 の神ツ海(秋日日 後期 後間の沖ッ海)で開光した 河豚又も名力士を倒す

十月二日より支店単粉を開 成り地階共五階の大趣築校功

環人側の受付では端洲國大奥 の一郎、これは一般動勇者さ しての皮切りであつた。また

をれについいて**殆**ご

同時一番地議選列

投票の 一番槍は東一体三四

満員お客を載せて

新京驛員

飛んでもない旅客サ

満人の荷物を降し

日本人客の荷物を積み込む

荷を積み込んだ、癥にさわつ 引きドレヤマドホテルの答の 引きドレヤマドホテルの答の

エプロン問題 一不平を言つてるた

京署保安係では一日午後一時常局指示の女給エブロン問題新示カフエー組合ではさきに 集を求め門田督部補より盆間 開發率の主旨及將米に於ける より三笠カフェーに役員の参 組合態度改奪に関し種々注 将一員、新京特市二員の成績 △女子排球リ

助役家まで乗いて大きな口を法をなじればモンタあるなら

△男子排球第一回戦

接戦を演じた 北満勝つ

公設市場に對抗して

滿洲体育大會第二日男子排節 田火したものである 出火したものである

球優勝戦結果左の如し

排籠球决勝

△箱球决勝戦

16 10 (

吉 | | 林 812 林 15

すで後半顕原州力戦途に優勝

車時刻改正 つなく遂行

新京師は一日かな機正された を車し時間改正は何等の事故 なく遂げされたが従来の吉曼 なく遂げされたが従来の吉曼 助役すんでうまくまさめて陳 別したが

だではなくて満城さヤマトホ本人の荷を優先的に積み込ん きがあるらしいさ、後までブラルさの間に何等かの掛び引 件の一男の話をき けば他頭の

△舉一回班

十五分より開始の警

記錄續出

関面に現れた競馬ニュースニー五 日の夕刻配 達され したのみで豫め宣傳を依頼す年の宣傳は只に新聞社に廣告

率結四八二三卷

理

ハマムラ

事務机、

曜町三ノニニ、滿鐵病院ノ裏

電話二二六七

和洋

試驗明日及場所、十月二十二日(日)本校門ニテ行フ願書締切十月二十日(用紙本校ニアリ)タイプライター講習生募集 新月時 新京實業補習學校 新京實業補習學校

炭

石 話 洋 新 行

焼 ほんざう

予御注文ニ應ジマス 各種其他一式、破格ノ御値段 木炭ノ卸及小賣 椅子、タンス、茶ダンス =

紅屋 B'SY 高尾が K 丰 よおな 国 日本 9

The second

息さいつた顔で終々さ投票場 眺めて庭遺標なきにキフさー 付字内を一わたりギロリ (~、受付于一間さすがは都大 亭大吉こさ宮本吉三耶氏方へ 日柔京、市内富士町三丁目料

#京署員に使見され三十日取 #京署員に使見され三十日取

-0

賽馬俱樂

部の失態

の目的を充分競弾する機能品。 飲え方法を止めて賽島俱樂部

か者讀

のた。 最高點者たる又痛いか 情者に聴へたら折判の繋か逃

Δ

最高點者たる又痛いか

るさ。これで前頭して荒水地が静かな足切りで這へつて来の一个前八時四十分江部高女校長 ふ地委選事の投票評遣 左の鍵をでする

第二回體育大會

籠球優勝戰

女子排球吉林省優勝

西会園に於て足球優勝戦が行

第二日競技全部を終了した。

けを減じてゐるが、今年のこけを減じてゐるが、今年のこり揚

十一日からの賽馬六日間に於

口・競馬俱樂部は二

部さなつた領京

今年から社順法

生徒募集廣告

本日は午旬九時より同じく

のラグピー模範試合も単行さ

終つて賞品授與式あり大食

競馬は人間の投機心に乗する

はれ、全學大料端の巡チーム

何故なれば世界何れの成でも ものか、それは俱樂部の食信 不足のためがあるさ断じたい

日程全部を終る響じある

立教勝つ

管である、斯るが故に、人心 営利事業であるみこまは暗何

早立二回戦

連日の景況を作つて容足を狩の役扱心を煽るためには新聞

り出すべきである。然るに今

專

1 [17]

-

流石にけぶの責任者だけに受ら離れてわざく、台場を一個と対はれたが につざいて塚本病院長が「ヤアヤア……」さステフキ片手

日山氏もプロセイ (恕世) かいいい はては「お茶一杯」で調を場合みで差し出し盛りで調を場合みで差し出し盛りではなり」と呼ばれば流石の

六六四票 四二二三 一二三三 三二三 三二三 票票

正午

所職係の者が一杯押しかけて 中山氏の事務所では微遺事務 宮城兩氏は論ひ合せに對立。

事務所の中間じ繍蔵の中山、選集場外に設けられた各候補

午前十一時 午後二時 午後一時

ウンドに於て夫々请す。 しんパスクフトボール優別 レー及パスケアトで 開門点体育大倉第二日男女パ は午前九時より、排球は男子ウンドに於て夫々開催。龍球

△バスケットポール第一回戦 21010 天省

劈頭戦さし午前九は半夫々開第一回戦北端特高尉吉林省を

始まれたが本社締切迄の成績

△第二回戦 14 典安省 早大0000世紀田先改で開始 三人針二で文教等つ 三人針二で文教等つ 2人4年紀田先改で開始

五分より別始されだ △女子排嫁り

明治神宮水一競技 劈頭より新

6國通)第七回

明治神宮体育大智は三十日午前九時秩父宮殿下脚臨路を仰前九時秩父宮殿下脚臨路を仰前先時秋父宮殿下脚臨路を仰前先時秋が北京村出り、東帯された本日の水上競技には世界新記録前出した。男子四百米谷冰、河津選手四分三十七秒六(世界記録)清川選手五分三秒四(世界記録)清川選手五分三秒四(世界記録)清川選手五分三秒四(世界記録) 男子四百平泳六分十五秒六小田 餘)女子二百、平泳三分〇秒二分四秒八小池選手(日本記 四前畑秀子孃(世界最高紀錄)

九秒中間初于壤(日本紀錄) 女子八百米自由型十二分三十 新京窯業ボヤ

ひ宣賞がないこさになり大穴という。素人の入場者がなく。勢の素人の入場者がなく。勢の変易さない。 そのため賽局が始つてるるの間面に現れた競馬ニュースは関面に現れた競馬ニュースは 郵便局の手落ちかも判らわが 招待狀の如き

雷時者に書ふ、来るトリの確 を選せねこさにもなる。敢て の成績が上りず、初別の目的 の成績が上っず、初初の目不促は所謂馬改益の産馬改 こさになる、その結果餐局しださして入場者さへ質は 鍵位の配合なれば質は必が増 きになる。同じ質つても五十 もなく益々人気を低下するこ

診 時 間

山崎齒科 中央通西公園前

う話がありやしたかり ア大陸の事でせら が、今日は白山の 先生の時所けつて、おばれ もしませんでした

「イヤ銀方、他の方もツイ忙しく

権兵衛呆れ返った。四郎左衛門

「親分、其後は脚無沙汰数しまし

ではず。二百麻然へて差上げるんしてゐなさる。今の代金は一文もしてゐなさる。今の代金は一文も

顔向けが出来れえ」

で、少し相談があって來やした」

「対談女は少の代金なして、公園のも取られやせらが、左も衣教館をも取られやせらが、左も衣教館をある。そ

を借の事は、極兵衛に任せたから こだな話

製れた大に、製人になる変数支膜 製として二百解がへます。

いの代物だから、タッで差上げま

だい三百 階と様は考へて あましてお話はありましたが、岩し其話、小説育山の路線から、 つ

っですか。そんなら落間はお

食堂樂竹葉

外皮科膚

性 核 尿 科

同

醫院

診療(韓島

碁盤目 引替

I

塲

完

前話次系

5)で同ひ致しかす

-

おい東丁を映此して買べる店

富士町二

日間二六〇六日

す。唐大橋天衛が根引きしやすか、大は敷らで京僧させて下せえまでした。 探て三瀧津の鉄が、太とうがせう。探て三瀧津の鉄が、太と

ス とかを賢物の此郎犬をもかく。 だが他もまとでは、へくさらですかとはずつてゐられやせん。 回うかとはずつてゐられやせん。 回うかとはずつてゐられやせん。 回う

(8

に、ブラリ と三瀬屋へ やつて來 て、千服からの代物を二割の鉱跡の根央論。政府十一日殿開きの日 にしなさんな。虧犬が驍俊づらし

制引護用期間三ヶ月) 管用期間三ヶ月) で、管理、神戸間乗相の大連、管理、神戸間、神戸間乗相の大連、管理、神戸間乗相の大連、神戸間乗相の大連、標準を持ち、一般の対象を表現した。

客の事だから

の事だから、すぐ客量へとほし

■一白の人の強かの事にも取

巳き辛き変が吉

控へて成るべく舊業を守れ二二黒の人 新規の事業は手

三瀬屋四郎左衛門は、大茂を香 三百服で繁稲しやせら」

●四線の人 時間

時頃未だ到來せ

中萬事物のべき日申論注意

の階輪を爲すには適當の日

手順を整へ活動

です、低させて置いませう」 オ・低させて置いませう」 です、低させて置いませう」 『先づ二百層でせら』 『ハヽア、千三百願から二百解引

の七赤の人

利闘するによろし

志盛成るも勢に任す可らず

ホホの落ちさうな美味

ボ

口腔外科

险四

運氣良好にして

「イ、エ たよの二百 殿なんです

おいであた。 一が酸性主懸が、実像にしてあった。 を持つてあるので、残二つには自 を持つてあるので、残二つには自 を持つてあるので、残二つには自 を持つてあるので、残二つには自 を持つてあるので、残二つには自 を持つてあるので、残二つには自 を持つてあるので、残二つには自 を持つてあるので、残二つには自

・八白の人名和に焦れば首尾

を全ふせず質直なるに吉

辿ら萬事進んで大吉さなる 旺盛なる氣運を

野遊の出籍當市場

內容

(日際祭日

日正午吃,日曜祭日休職)(曾 分 休 総)(曾 分 休 総)

一大阪商船出帆 (大阪)行

樂道食

電話三九三六番

用くださいませ
用くださいませ

食料品と

X1111等船客股價船 X1111等船客股價船

(7)

通道ホテル

配達は飛行式

電話三三四三番

日華洋行

內

は

新

京ピ

韓華和

通辯護士

田

改良

自

色煉瓦

便質ナルラ以テ建築物

永久保存



●切符酸賣所 土

十月十二日

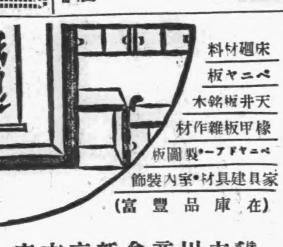
カフーリストピューの位線主要各種及各地の

御安たして お求めを

半るり一帶 管人組命而是古 豊富に取揃へました! 神門の力 商

大阪商船株式會社 大阪商船株式會社 大阪商船株式會社 電話四二三七番 電話四二三七番

今秋流行の粹を誇る! 揚 を持一つで「店 類 なりま 料材廻床 板ヤニペ 木銘椒井天



會商川吉懿 大四通央中京新 番三一九二篇電



徵

御料理

梅

機械製ナル

ナルニ付破損品尠ク

損品尠ク實際使用數量ララ以テ寸法正確且ツ堅牢

節約シ得

電話 二七八四番

特

嚴寒ト雖モ凍結ニヨル建物地下室其他濕地建物ニ好適堪へ

破損

ノ慮

新

營業所 宝 司

製造販賣 I 塲 商電町 埠地 西四馬路電話長四七五八番

東日 参河洋田 東田 東田 東田 東田 東田 東田 東田 **満洲國際電**元 金龍洋行 2 2755 **永柴町一丁目電四八三五面**

粉精粉味調級

リアニ店 原雑料食園全 司公通大舖本

前校學公司留京路板。京東。第三章製

唸を生じて大評判 不况を外に大發展 慢かば焼トごんぶり

伊書道楽 三笠町二丁目 靑 高話二九四二番

市調製設をする

通標和京新

目科業營

: 北施設 工木 地工計事土 量督圖頁家

新京室町二丁目九番地

主 司

洲 政府指泛請負人

滿

煉

瓦製造販賣

新京入船町二丁目 番地(二條橋北詰西へ入)

業公 電話四八六九番 工協、鐵道北极富成子 司

電話四七九O番 古村元七郎